



がっこう 学校だより

がっこう
10月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ なん がつよつが
令和3年10月4日
よこはましりつかみいだしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

みじか やさ ことば 短くとも優しい言葉で

こうちよう よこやまよしあき
校長 横山 美明

なが ぶんさんとうこうきかん お つうじよう がっこうせいかつ もど せんげつごう つた
長かった分散登校期間もようやく終わり、通常の学校生活に戻りました。ただし、先月号でもお伝
えしたように、子ども達を取り巻く環境は変わっていませんので、気を抜くことなく学校全体で改め
て感染拡大防止に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

ぶんさんとうこうちゆう きようしつ まわ たんまつ かつよう じゆぎよう おこな
分散登校中、教室を回っていると、ほとんどのクラスでタブレット端末を活用した授業が行わ
れていました。クラスの子どもが半分の人数しかいないので担任が一人ひとりに対応でき、子ども達に
とっても安心してタブレット端末の導入が行えたのではないかと思ひます。活用に当たっては、ご
かてい どういしょ どう いらい たんまつ も かえ かてい たんまつ つか かていがかく
家庭にも同意書やアンケート等の依頼、タブレット端末の持ち帰りやご家庭の端末を使つての家庭学
しゅう きようりよく きゆう ねが たいおう
習への協力など、急なお願いにもかかわらずご対応いただきありがとうございます。横浜市だけ
でなく、全国的にもGIGAスクール構想により子ども達の活用が進んでいるところですが、東京都内
の小学校で、いじめが原因と思われる痛ましい事案がありました。このいじめの経過の中で、児童に
はいふ たんまつ きのう もち こうい ほう
配付したタブレット端末の機能を用いた行為やアカウントのなりすましがあつたと報じられています。

わたし たんにん ととき こ たち こうない つか じゆぎよう おこな
私が担任をしていた時、子ども達と校内でチャットを使つた授業を行つたことがありました。そ
の当時はまだSNSという言葉さえ普及しておらず、スタンプや絵文字もない文字だけのチャットでし
た。お互いの顔が見える場所にはいましたが、全員ハンドルネームを使い、発言の主がわからないよう
にしました。チャットを終えてからそのやり取りの全てをプリントアウトして子ども達と見直し、感想
を出し合いました。「初めてなので面白かつた」「やり取りが楽しかつた」などの感想が多い中、「こ
の発言がとても嫌だつた」「この言い方が頭にきた」などの意見も出されました。子ども達はキーボ
ードを速く打てなかつたので、話題に乗り遅れないように短い言葉で発言してました。それがうまく
つた よ あいて ふかい きも わるくち ほんこう
く伝わらず、読んだ相手を不快な気持ちにさせたり悪口になつてしまつたりしたようです。本校もそう
ですが、小学校では「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」についての取組を行うことができます。ふ
わふわ言葉は「ありがとう」や「どんまい！」など人に対する優しい言葉、一方チクチク言葉は「バ
カ」「きもい」など人を傷つける言葉です。チクチク言葉の方が2~3文字の短いフレーズが多く、キ
ーボード入力が苦手な子どもにも簡単に打ててしまいます。とはいえ、ネットの向こうにいる人で
す。たとえ早く気持ちを伝えなければならぬ場面であっても、送信ボタンを押す前に言葉を受け取る
ひと きも いちどよ かえ かくにん たいせつ がっこう こえか とりくみ
人の気持ちになつてもう一度読み返して確認することが大切です。学校でもそういった声掛けや取組
つづ かてい こさま わだい
を続けていきますが、ご家庭でもお子様と話題にさせていただけるとありがたいです。